

～ 受賞者・受賞団体功労紹介 ～

【社会貢献青少年（団体の部）】

○ 能代市立常盤^{ときわ}中学校 J R C 委員会 （能代市）

昭和 5 0 年に発足以降、空き瓶・アルミ缶の回収を継続して行い、その収益金で福祉施設に車椅子を贈呈しているほか、緑の羽根募金活動、赤い羽根募金活動の推進役を担っている。また、J R C 便りを発行し、啓発活動を充実させている。

少人数学校ではあるが、地域住民と協力して、「地域のため、社会のため」積極的に社会貢献活動に取り組んでいる。

○ 大館市立早口^{はやぐち}小学校児童会 （大館市）

① ふるさと元気プロジェクト

平成 2 3 年度から東日本大震災の被災者支援として、全校児童が「ふるさと元気農園」でサツマイモを栽培して地域で販売し、その収益金を復興支援義援金として宮城県気仙沼市の大島小学校へ送っている。なお、平成 2 8 年度には熊本地震の被災地である熊本県益城町立飯野小学校へも義援金を送っている。

② はつらつ弁当プロジェクト

大館市社会福祉協議会が独居老人に宅配している福祉弁当の食材として、児童達が「ふるさと元気農園」で収穫した米とサツマイモを提供している。それぞれの学年が収穫、弁当の宅配、レシピ開発やプレゼント作りなどの役割を分担し、全校児童が一体となって地域貢献活動を行っている。

○ 秋田県立大曲^{おおまがりのうぎょう}農業高等学校太田^{おおた}分校郷土芸能部 （大仙市）

創部から永きにわたって福祉施設での慰問活動や地域イベントに積極的に参加し、民謡や手踊りなどの郷土芸能を披露している。地域の幅広い年代の方々に親しまれ、地域住民を元気づけるなど、地域社会への貢献度は大きいものがある。また、平成 2 6 年に秋田県で行われた国民文化祭に出演し、閉会式のミュージカルでは県内の郷土芸能部の中心的存在として活躍した。

現代の高校生が郷土芸能を真剣に受け継ぎ、そして後輩へ指導・伝達するなど、自分たちが郷土芸能を次の世代へ繋いでいけるよう日々取り組んでいる。

